

施策評価シート（令和元年度実績）

施策名 **3 未来を切り拓く力と地域への愛着を持った子どもを育む**

		施策コード	010003
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	1 心豊かな人が育ち ふるさとに誇りと愛着を感じるまち	
主管課	教育部 学校教育課		
関係課	教育部 教育総務課		

2. 施策の目標	
10年後の目標	
<p>子どもたちが夢と希望を描き、可能性を広げ、健やかに成長することができる、質の高い教育環境が確保されています。ふるさとへの誇りと愛着を持った子どもたちが育ち、新たな地域の活力の担い手となって活躍しています。多様性を認め合うことができる豊かな心と、思いやりのある子どもが育つ教育環境となっています。</p>	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
<p>○教育研究センターを中心に教職員研修を充実します。 ○英語教育、道徳教育の研究及びアクティブラーニング（主体的・協働的な学習）やICT（情報通信技術）教育の推進など新しい教育課題に取り組みます。 ○小中連携・小中一貫教育の推進、新たな情操教育の導入に取り組みます。 ○貝塚で学び育ったことを誇らしく語ることができるよう郷土愛を育む教育（貝塚学）を推進します。 ○11月の第3日曜日を「貝塚家族の日」と定め、家庭や地域を対象とした公開講座を開催するなど、家庭と地域の教育力向上に取り組みます。 ○11月の第2日曜日を「貝塚読書の日」と定め、家庭、地域、学校が連携・協力して読書環境の整備に取り組み、子どもの読書活動を推進します。 ○特別支援教育については、専門家チームを各学校に派遣し、インクルーシブ教育（「ともに学び、ともに育つ」教育）システムを構築します。 ○不登校や暴力行為、いじめなどの問題行動の解決に取り組みます。 ○外国人児童生徒に対し、日本語指導等を実施します。 ○幼稚園・小学校・中学校の教育環境に対するニーズや、園児、児童、生徒数の動向を的確に把握し、施設・設備の整備を進めます。 ○小中学生に対し、安全かつ栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、アレルギー対応を充実します。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○家庭や地域は学校と連携し、教育力向上に努めます。 ○家庭において読書習慣の形成に取り組みます。 ○家庭におけるいじめ防止や人権尊重の教育を進めます。 ○地域において児童の通学の安全のために見守り隊活動を充実します。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>令和3年に完全実施される新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実践が求められている。また、GIGAスクール構想を実現するため、学校における大容量ネットワーク環境や一人1台タブレット端末の整備を進める必要がある。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>家庭の価値観が多様化される中、個々の子どもたちに応じた学習環境の整備と、個性を伸ばす学校教育が求められている。</p>	

4. 施策にかかるコスト								
		単位	H30予算	H30決算	R元予算	R元決算	R2予算	
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		48.43		48.9	
		嘱託員数	人		21.99		21.99	
	人件費	直接人件費	千円		396,304		417,788	
		間接人件費	千円		18,282		20,770	
	直接事業費	千円	1,156,368	1,238,051	1,134,782	1,754,117	1,107,228	
間接事業費	千円		3,217		5,675			
フルコスト	千円	1,156,368	1,655,854	1,134,782	2,198,350	1,107,228		
財源内訳	使用料及び手数料	千円		27,151		12,750		
	国庫支出金	千円	9,591	25,293	5,845	165,661	20,474	
	府支出金	千円	12,095	23,733	11,761	37,987	12,908	
	市債	千円	72,300	209,800	13,000	652,900	24,700	
	その他	千円	57,178	146,399	28,019	45,353	21,165	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）	千円	1,005,204	1,223,478	1,076,157	1,283,699	1,027,981	
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	千円	1,005,204	805,675	1,076,157	839,466	1,027,981	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1	学校満足度評価（学校に行くことが楽しい）						
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
%	令和7年度	85	増加	88.5	78.2	85	85
成果指標2	故郷への愛着度（地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある）						
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
%	令和7年度	80	増加	54.7	56.8	80	80
成果指標3	全国学力学習状況調査における全国平均正答率と本市の平均正答率との差						
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ポイント	毎年度	0	増加	-3	-4	0	0

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和元年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込)			
教育委員会 関連事務 (教総)	R元実績			4,203	4,211	4,185	4,251	成果	評価対象外	
	最終目標値に対する達成率			6,721	4,906	5,686	0	資源配分		
学校園維持 管理事業 (教総)	学校園の施設の不備が原因で発生した事故件数			290,989	347,306	325,351	318,618	成果	B：現状維持	施設の老朽化が進行し、修繕の必要な箇所が年々増加している。令和2年度に長寿命化計画を策定し、計画に基づき維持管理を行う。
	R元実績 0 件									
	最終目標値に対する達成率			82,308	82,018	86,890	0	資源配分	B：現状維持	
学校給食事 業 (教総)	中学校における給食残渣率(主食・副食)			134,142	128,409	120,519	135,128	成果	A：向上を図る	義務教育期間における食の大切さを児童生徒、保護者に啓発し、給食残渣率の減少に取組む。
	R元実績 27.4 %									
	最終目標値に対する達成率			195,745	199,448	215,559	0	資源配分	B：現状維持	
学校安全対 策事業 (教総)	校内への不審者侵入件数			34,361	34,720	35,731	38,617	成果	B：現状維持	現行の学校安全対策について、安全性を維持しつつコストを削減する方法を研究する。
	R元実績 0 件									
	最終目標値に対する達成率			608	622	766	0	資源配分	B：現状維持	
教育研究セ ンター事業 (総務課) (教総)	R元実績			3,044	3,399	3,758	4,423	成果	評価対象外	
	最終目標値に対する達成率			547	534	648	0	資源配分		
小中学校ト イレ改修事 業 (教総)	校舎トイレの洋式化率			145,935	77,498	57,415	2,075	成果	A：向上を図る	小中学校校舎におけるトイレの洋式化は、令和2年度で使用頻度の高い校舎の工事を一定終了する予定。
	R元実績 80.8 %									
	最終目標値に対する達成率			1,991	2,028	2,477	0	資源配分	A：資源を拡大	
学校園空調 設備設置事 業 (教総)	小学校空調設置教室数			0	0	710,165	0	成果	D：廃止・終了	小学校の普通教室及び使用頻度の高い特別教室へのエアコン設置が完了した。
	R元実績 298 室									
	最終目標値に対する達成率			0	0	3,064	0	資源配分	D：廃止・終了	
幼稚園移転 改修事業 (教総)	実績			0	0	6,093	96,778	成果	評価対象外	
	最終目標値に対する達成率			0	0	2,553	0	資源配分		
教育研究セ ンター事業 (学校教育 課) (学校)	各校園研修会開催回数			9,577	8,299	6,624	6,088	成果	B：現状維持	学力向上・教職員の資質向上は喫緊の課題であり、講師の選定をはじめ、研修プログラムのさらなる充実を図り、本センターを核として、学校や教職員をサポートする。
	R元実績 631 回									
	最終目標値に対する達成率 263.0%			27,679	29,369	29,877	0	資源配分	B：現状維持	

生徒指導推進事業 (学校)	生徒指導等に係る総相談件数			20,958	20,099	21,490	7,583	成果	B：現状維持	今後も関係諸機関と連携し、生徒指導事業の未然防止、早期解決に努める。
	R元実績	3,302	人	18,719	19,194	19,558	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
国際理解教育推進事業 (学校)	NETIによる指導を受けた児童生徒数			18,538	32,066	28,632	32,528	成果	B：現状維持	新学習指導要領の全面実施により、小学校における外国語教育の充実が必要となる。次年度もエルマリノ小学校との交流は継続し、成果を上げる。
	R元実績	5,927	人	2,340	3,399	3,469	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
教科用図書選定事業 (学校)				55	73	141	172	成果	評価対象外	
	R元実績			2,814	2,891	2,956	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率									
特別支援教育推進事業 (学校)	特別支援相談件数			4,431	4,059	4,025	2,945	成果	B：現状維持	今後も教育相談件数は増加することが予想されるため、発達相談員やリーディングチームを活用し、支援の必要な児童生徒へきめ細やかな対応に努める。
	R元実績	350	件	7,717	7,931	8,108	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	125.0%								
人権教育推進事業 (学校)	各校園の人権教育関係校内研修実施回数			2,609	2,561	2,835	3,320	成果	B：現状維持	多様化する人権課題に対応するため、人権教育の質の向上に向けた教職員研修の充実を努める。
	R元実績	106	回	7,281	7,477	7,647	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	240.0%								
学校水泳充実事業 (学校)	水泳授業の実施率			0	0	0	0	成果	A：向上を図る	近隣市町が学校水泳を中止する中、7月から2月にかけて小1から中1まで学校水泳を実施できることの意義は大きい。今後も本事業を通じて、着実に泳力向上に努める。
	R元実績	65.3	%	0	0	0	0	資源配分	A：資源を拡大	
	最終目標値に対する達成率	-								
学習指導充実事業 (学校)	児童・生徒の学校に対する満足度（学校に行くことが楽しい+学校で友達に会うのが楽しい）			12,253	22,204	12,651	7,359	成果	B：現状維持	今後も児童生徒の学習習慣の定着のために、学習支援アドバイザーの人材確保に努める。
	R元実績	78.2	%	8,973	9,230	9,949	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	78.2%								
奨学資金貸付事業 (学校)	貸付人数			12,695	9,155	7,468	14,211	成果	B：現状維持	電算化による業務効率向上と利便性向上に引き続き取り組むとともに、返還業務において、返還開始時期に重点を置き、納付相談等丁寧な対応を進める。
	R元実績	60	人	3,437	3,537	3,450	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
スクールバス運行事業 (学校)	スクールバス利用者数			9,926	9,926	10,018	10,110	成果	B：現状維持	今後も山間部在住の園児児童生徒の登下校の安全確保に努める。
	R元実績	15	人	1,864	2,014	2,058	0	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	-								
教職員人事管理事務 (学校)				1,167	1,004	1,004	1,004	成果	評価対象外	
	R元実績			10,611	11,299	11,549	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率									
学校園保健事業 (学校)	園児・児童・生徒及び教職員健康診断受診者数			29,304	29,052	28,911	33,089	成果	簡易評価	
	R元実績	8,035	人	5,653	4,714	3,969	0	資源配分		
	最終目標値に対する達成率	-								

小中学校障がい児 介助員配置事業 (学校)	介助員の配置を必要とする児童・生徒数			80,776	90,476	90,815	1,820	成果	B：現状維持	多様化するニーズに対応するため、適切な配置と人材確保に今後も努める。
	R元実績	85	人	3,191	4,406	4,324	0	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
小中学校就学事務 (学校)	児童生徒数			744	720	612	730	成果	簡易評価	
	R元実績	7,470	人	2,439	2,155	2,898	0	資源 配分		
	最終目標値に対する達成率									
小中学校就学援助事業 (学校)	就学援助費支給者数			128,535	127,153	112,593	143,131	成果	簡易評価	
	R元実績	1,488	人	4,159	3,431	3,511	0	資源 配分		
	最終目標値に対する達成率									
幼稚園障がい児加配講師等配置事業 (学校)	加配講師を必要とする園児数			23,133	24,514	24,939	720	成果	B：現状維持	支援を要する園児に、就学前教育を保障し、小学校へ円滑に接続するため、適正な配置を行う。
	R元実績	32	人	2,128	3,303	2,975	0	資源 配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
学校園運営事業(小中幼) (学校)	小・中・幼教材整備額			137,400	141,094	138,142	194,984	成果	簡易評価	
	R元実績	19,907.7	千円	6,097	4,988	4,617	0	資源 配分		
	最終目標値に対する達成率									

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	現状3指標とも未達成であるが、特に達成度に課題のある「故郷への愛着度」については、貝塚学の授業実践をはじめ、これまで以上に施策の中で、子どもたちが貝塚の良さを実感できる取組みをすすめていく必要がある。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性	
各事業を着実に遂行することによって、「知・徳・体」のバランスの取れた子どもの育成と、本市で学んだことを「誇り」に思い、夢を持って生きていくことのできる子どもを育てていくことが重要である。また、新学習指導要領の完全実施や学校現場へのタブレット端末導入など、新たな取組みにも柔軟に対応できる教職員が求められており、今後も継続して資質向上の取組みを進めていく必要がある。	